

香川県プランクトン情報（第4報）

令和3年4月19日発行

4月19日にプランクトン調査(燧灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を死滅させる有害プランクトン、貝毒の原因となる有毒プランクトンの出現は確認されませんでした。
- ・珪藻類についてはレプトシリンダラス属の出現が見られました(最高 21 細胞/mL: 定点 KA15)。
- ・その他、全調査定点でディクチオカ属(旧シャットネラ・グロボーサ)の増殖が見られます(最高 78 細胞/mL : 定点 KA24)が、詫間湾では 10 細胞/mL 以下で推移しています。
- ・燧灘沖合の表層水温は 13~14℃、溶存酸素(DO)は約 8 mg/L(表層~低層まで)で推移しています。

表：2021年4月19日有害・有毒プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

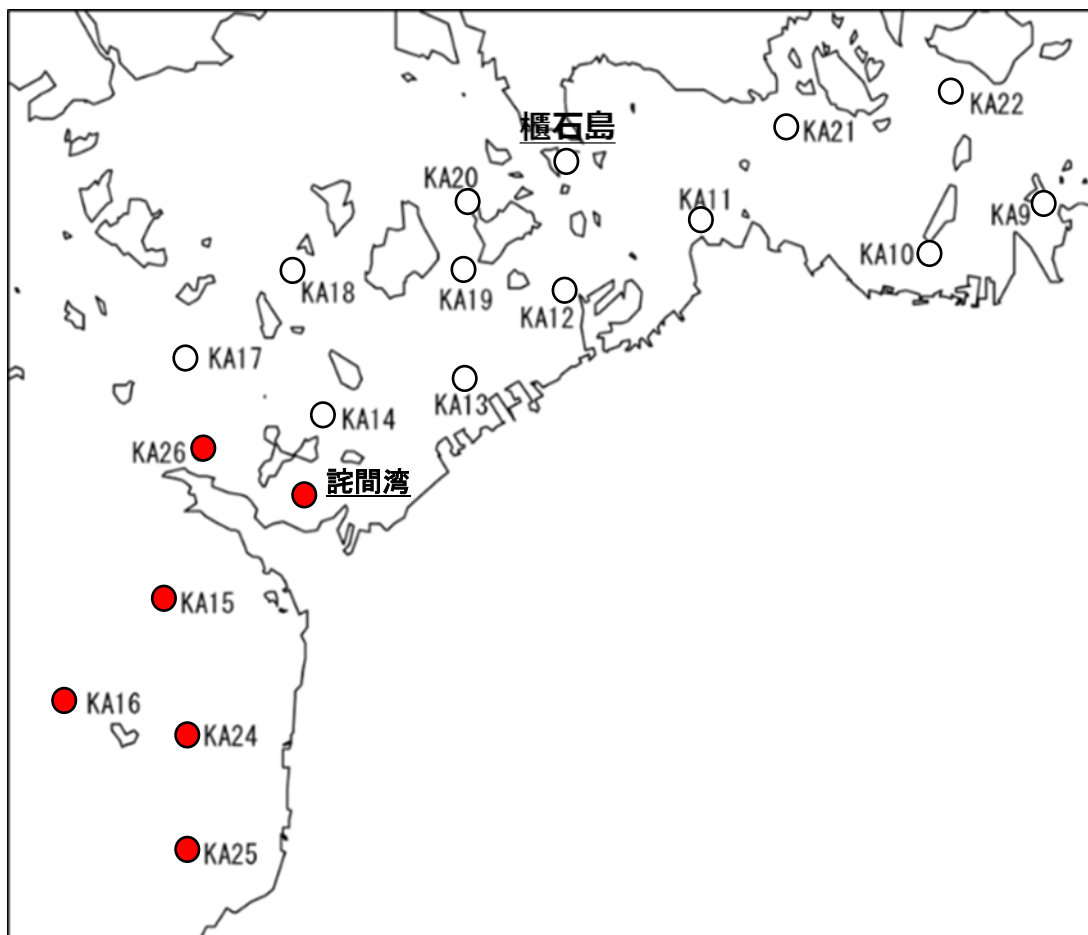
調査地点	水深(m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	カレニア・ミキモイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	旧アレキサンドリウム・タマレンセ	旧アレキサンドリウム・カテネラ
KA15	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA16	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA24	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA25	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA26	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
詫間湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

【参考】調査定点（備讃瀬戸・燧灘）



* 赤潮定期調査（燧灘）は合計 6 定点（KA15、16、24～26、詫間湾）で行っています。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテナラ	-	50 細胞/mL